

専門教育科目

講義科目

授業科目名	簿記3級をめざす	科目コード	配当年次	単位
担当教員	依田 朗裕	HH76	1	2

科目の概要

「簿記を基本から学ぶ」などの簿記の入門科目の修了者など、簿記の基本的な知識がある人を対象にした、日商簿記検定3級の合格対策のための科目である。そのため日商簿記検定3級合格のための受験対策のテキストを用いる。複式簿記の基礎的な考え方を一通り理解し、日商簿記検定3級の合格に必要な知識の習得を目指す。
 ※簿記の初学者を対象とした科目ではないので注意されたい。「簿記を基本から学ぶ」が初学者の対象科目である。

科目の到達目標

- ①複式簿記の基本構造を理解し、日商簿記検定3級の範囲の仕訳が一通り作成できる。
- ②総勘定元帳・試算表・精算表・財務諸表の特徴と仕組みを理解し、日商簿記3級の本試験問題を解く力を身につけることができる。
- ③その他日商簿記検定3級に合格するための必要な知識を習得することができる。

テキスト	『みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商3級 商業簿記』滝澤 ななみ, T A C出版
------	---

テキストの読み方

- ①「仕訳を習得すること」を意識しながら本文を読む。本文の最初に基本事項が記述されているのでそこを読みながら、出てきた勘定科目をノートに書いていく。仕訳を作成するための取引例が出てきたら、仕訳は見ないようにして、自力で仕訳を考えてノートに書き、その後に仕訳を確認する。
- ②CHAPTER2以降は、章の最後に記載された基本問題を、その章の本文を読み終えてから時間をおかず解き、正解を確認し、間違えた問題についてはその理由を必ず確認すること。
- ③①・②を少なくとも2回繰り返す。1回目から2回目の間隔は2～3週間程度が理想である。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
 または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。